

的場委員（民主県政会）

令和2年3月11日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）文化財等の保護と維持管理に向けた財源の確保について

文化財や歴史的価値のある建物の保存と活用策を進めるためには、地域づくり・観光振興策などの重層的なロードマップの作成と、その財源を捻出するために「クラウドファンディング」「ふるさと納税」「地域ファンド」「民間からの寄付」等を活用し、将来的な支出増に備えるため「広島県文化財・歴史的建造物保護基金」を検討したらどうかと考えるが、教育長に所見を伺う。

（答）

ロードマップの作成に関しましては、文化財保護法におきまして、県において文化財保存活用大綱を策定し、それを勘案して、市町が策定する文化財保存活用地域計画の中で地域毎のロードマップを作成することとされております。

教育委員会といたしましては、関係部局と連携し、地域づくりや観光振興を含めた文化財の保存・活用の方向性を大綱として示し、市町のロードマップ作成を指導・支援してまいります。

また、財源確保方策につきましては、全国で寄附金など多様な手法が進められ、とりわけ、複数の府県で基金を活用した取組が実施されているところであり、教育委員会におきましても、今後、こうした事例を参考に様々な角度から研究してまいります。